

TOTO

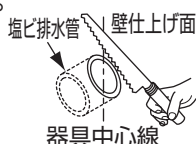
壁フランジ

商品の機能が十分に発揮されるように、この取付説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

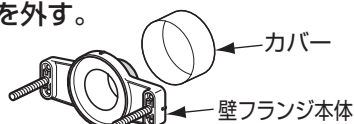
取り付け前に、塩ビ排水管がしっかり固定されていることを確認してください。
 しっかり固定されていないと壁フランジ本体挿入時に塩ビ排水管がズレ、挿入が不十分となり、水漏れする原因となります。

- 1** 塩ビ排水管を壁仕上げ面で切断し、残りクズを取り除く。

※壁仕上げ面から塩ビ排水管が飛び出していると、壁と便器の間にすき間が発生し、水漏れの原因となります。



- 2** カバーを外す。



- 3** 壁フランジ本体(パッキンはグリース付き)を塩ビ排水管にしっかり押し込み取り付ける。



※壁フランジの突起部を器具中心線にあわせてください。

※グリースの付いた手で壁などをさわると汚れますので、ご注意ください。

⚠ 注意



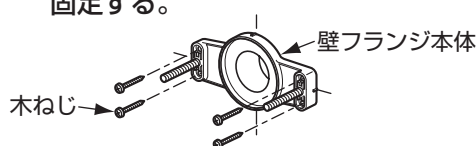
パッキンには、シリコングリースG-501 (信越シリコン製)が付いているため、他のグリースや接着剤などを塗らない

他のグリースなどを使用するとパッキンの劣化が促進され、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

パッキンにほこりなどを付けない

パッキンにほこりなどが付いていると、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

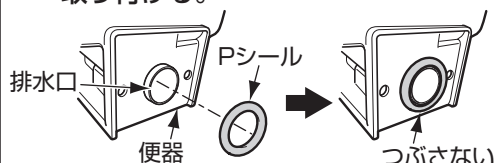
- 4** 木ねじで、壁フランジ本体を壁面に固定する。



※壁に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

※固定が不十分ですと、器具がガタつく原因となります。

- 5** 同梱のPシールを便器側の排水口に取り付ける。



※排水口にPシールを取り付ける際は、接合部を上にしてください。

※Pシールを故意につぶしたり、丸めたりなど変形させないでください。排水管の詰まりや水漏れにつながります。

※フランジ側にPシールを取り付けしないでください。Pシールを先にフランジ側に取り付けると、排水管内へはみ出し、排水管の詰まりや水漏れにつながるおそれがあります。

- 6** 便器を壁フランジ本体に接続する。

